



藻の上を歩くトウネン、ハマシギ、ソリハシシギ、アカアシシギ

9月のおすすめ 秋のシギ祭り

9月になると、ロシアで子育てを終えたシギやカモたちが続々と米子水鳥公園に飛来します。

昨年は、池の水面に大量の藻が浮遊し、その上に様々な種類のシギが舞い降りました。特に、9月7日は13種類ものシギが観察でき、この様子を「シギ祭り」と題してブログで紹介しました。今年もシギ祭りが見られるのか、注目です。

2018年5月16日~8月14日に見られた鳥

キジ、(コブハクチョウ)、オトリ、カヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、マガモ×カガモ、カガモ、ハシロガモ、オガガモ、コガモ、ホシハジロ、キツロハジロ、スズガモ、カイツブリ、キジバト、カウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、バソ、オオバソ、カッコウ?、アマツバメ、コチドリ?、セイタカシギ、オグロシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、クサシギ、タカアシシギ、キアシシギ、ソリハシギ、イソシギ、アカエリヒレアシシギ、クロハラアジサシ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、オオタカ、カワセミ、ハヤブサ、モズ、ハシボロガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ショウトウツバメ、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、メジロ、シマセンニュウ、オオソリ、セッカ、ムクドリ、イビヨドリ、スズメ、ハセキレイ、セグロセキレイ、(ドバト)

合計: 65種類・交雑 1

※下線太字は注目の鳥、() は外来種。



←
ヨシ原に潜むヨシゴイ
(2017年6月8日撮影)

今月のNEWS

スッポンの卵を発見

7月8日に、園路の傍らにスッポンの卵がちらばっているのがみつかりました。

付近に穴が開いていて、そこから何者かに掘り出されたようです。散らばっていた卵は回収し、土に埋めて孵化するかどうか観察中です。



散らばるスッポンの卵
(2018年7月8日)

ミツバチの分蜂

7月12日に、ネイチャーセンター正面の樹木の茂みにセイヨウミツバチの大群が現れました。分蜂という現象です。

数千匹かそれ以上のミツバチが塊になっている光景は迫力満点でした。

翌日の午前中まで見られましたが、その後いなくなりました。どこからやってきて、どこへ行ってしまったのでしょうか?



セイヨウミツバチの分蜂
(2018年7月12日)

9月のイベント

水鳥公園のイベントの参加には入館料が必要です。表示があるものを除き、会場・集合場所は水鳥公園ネイチャーセンターです。

9月1日(土)受付開始

「コハクチョウ初飛来日クイズ 2018」

内 容：今年のコハクチョウの初飛来日を予想して投票していただき、正解者にもれなく記念缶バッジを贈呈します。さらに、正解者の中から抽選で3名様には、羊毛フェルトのコハクチョウもプレゼントします。

対 象：期間中のネイチャーセンター入館者

応募方法：入館時に配布する応募用紙に必要事項を記入し、応募用紙を館内の応募箱に入れます。応募はお一人につき1回とさせていただきます。

※とっとり県民カレッジ連携講座



9月2日(日)13:30~16:30

手作り自然教室「カエル工房 in 米子水鳥公園」

内 容：プロのレプリカ職人をお招きし、本物そっくりなカエルのレプリカを作ります。

講 師：カエル工房

対 象：小学生以上先着 20 名・要予約

参加費：500 円（入館料込）※とっとり県民カレッジ 連携講座



9月17日(月・祝)10:00~12:00

自然観察会「^{ぜつめつきぐしゅ}絶滅危惧種の虫を探そう！」

内 容：園内で昆虫採集をして、とれた虫の中に鳥取県内で絶滅が心配されている珍しい種類がないか調べます。

対 象：小学生以上がおすすめ。先着 12 組・当日受付

※とっとり県民カレッジ連携講座



お申し込み・お問い合わせ先：米子水鳥公園ネイチャーセンター

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL：0859-24-6139 FAX：0859-24-6140

ホームページ <http://www.yonago-mizutori.com>

●開園時間：4月~10月 9:00~17:30

11月~3月 8:30~17:30（土・日・祝日は、7:00から開園）

●入館料：高校生以上 70歳未満：310円（年間パスポート 1540円）中学生以下および 70歳以上：無料

●休園日：毎週火曜日（祝日を除く）および祝日の翌日（土曜、日曜を除く）

